

# 令和7年度木育インストラクター向けアンケート調査結果（報告）

## 1 調査目的

- ・木育インストラクターの活動状況や意向等を把握し今後の取組に活用するために実施したもの

## 2 結果概要

### （1）回答者の属性

- ・回答者数：34人（36%の回答率（34人/95人中））
- ・所属：2割強木育団体、2割弱保育園関係、1割イベント関係、2割個人、3割その他
- ・活動場所：5割弱 都市部、5割強 山間地（活動している者のみ）
- ・5割弱：東部、4割弱：中部、2割弱：西部

### （2）活動状況

- ・7割が「活動していない」もしくは「年に数日程度」と回答
  - ・3割が定期的な活動実績があると回答
- 特に団体等に所属していない個人は全員、「活動していない」もしくは「年に数日程度」と回答していた。

### （3）木育活動満足度

- ・4割が満足していると回答  
理由の抜粋：情報交換や協力関係を築くことができた、遊んでいる人の笑顔を見ることで効果を実感
  - ・3割が満足していないと回答  
理由の抜粋：自分自身が評価できない
  - ・3割が活動していないのでわからないと回答
- 特に中部エリアでの満足度が比較的高い傾向があった。

### （4）木育インストラクターネットワーク構築状況

- ・7割が構築していないと回答  
主な理由：つながりが希薄であること、連絡先が不明、時間がないなどの理由
  - ・3割が構築していると回答  
主な具体例：地域の活動団体とつながっている、インストラクター研修時に連絡交換し繋がっている。
- さらにエリアごとで比較すると、西部中部ではネットワーク構築状況は半々であったが、東部においてネットワーク構築をしていない人の割合が高かった。

### （5）ネットワーク構築に効果的だと考えるもの

- ・木育インストラクター全体のネットワークを構築すること23人
- ・研修会・セミナー等の開催すること20人
- ・交流会の実施すること16人
- ・そのほかの意見としては、SNSによるつながりや、リーダーの養成、グループ構築をした団体に奨励金、熱心に活動する方へ委託する等、様々な回答があった。

### (6) 木育リーダーの必要性

・8割以上が必要と回答。

○そのうち6割の方がリーダーの養成講座への参加に興味があると回答があった。

### (7) 今後取り組みたい木育分野で15人以上がチェックした項目

- ・木工教室21人
- ・木育拠点施設の活用や自然観察・自然体験20人
- ・木育講座・研修会17人
- ・木育玩具製作16人
- ・環境教育15人

### (8) 鳥取県に取り組んでほしい取組で15人以上がチェックした項目

- ・木育インストラクター等のマッチング相互連携等の取組19人
- ・木育講座・木育研修会等の開催17人
- ・アイデア実現のための伴走支援等15人

## 3 考察

○活動したいが活動できていない人が多く、他の活動的なインストラクターを交え交流（情報交換会等）が必要であると感じている人が多い。

○また、活動していないことが大きな要因となり、自身の活動に満足していない人が多い。

○積極的に活動している方は、独自のネットワークがあり、様々な人と連携し満足度も高い。

○木育リーダーについて関心が高く、必要だと考えている人が多い。

○リーダー研修に参加したいと回答があった人はどのエリアも5人程度であり、各エリアで積極的に木育活動ができる人材育成の可能性が高い。

○鳥取県に取り組んでほしい政策で多かったものは、他の木育インストラクターと連携した取り組みや技術力向上の取組などが多く、意欲が高いことアンケートにより分かった。

当アンケートへご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果を基に今後の取組へ反映を行っていきます。